

かやっ子

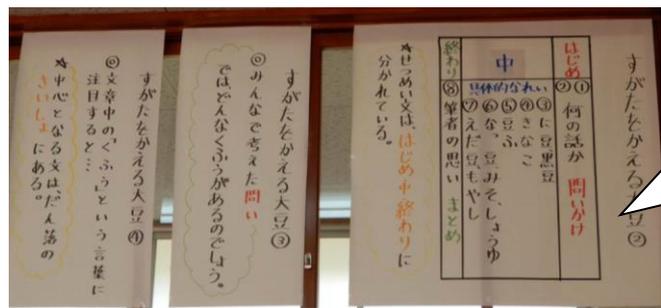


与謝野町立加悦小学校 研究推進委員会
令和3年11月10日号
自ら考え、関わり、挑戦する児童の育成
～言葉を通した確かな学び～



3年国語「すがたをかえる大豆」

先週、3年2組で研究授業を行いました。この学習では、文章全体の組み立てや、筆者がどのように例を挙げているかを学びます。そして、大豆が様々なすがたに変えられて食べられていること、具体例の挙げ方にも書き方や順序の工夫があることなど学んだことを生かして、説明する文章を書いていきます。今回は、リーフレットに仕上げる計画をしています。どんなリーフレットになるのでしょうか。



これまでの学習を振り返ります。筆者の書き方の工夫として、「はじめ・中・終わり」に分けていること、中心となる文を段落の初めにもってきていること、という2点を学んできました。この時間では、他にどんな工夫があるのかを学びます。

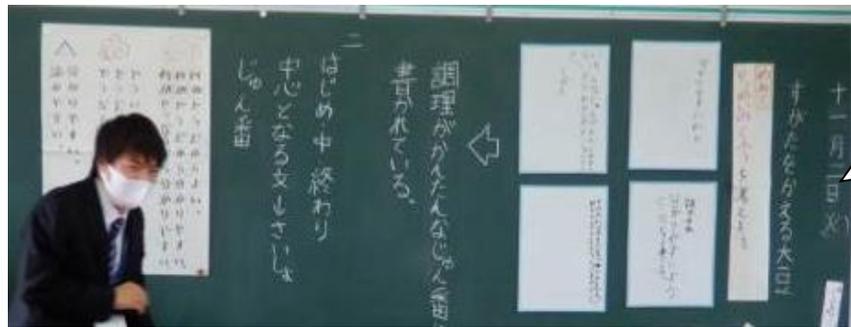
「前の時間に、大豆がどんな姿に変わっていくのかを読んだね。」「順番はこれで合っているかな?」「先生、順番が違います。・・・と、具体例を挙げる順番に着目させます。筆者がなぜこの順番で例を挙げたのかを考えました。



まずは自分で考えます。今までのワークシートを見直したり、本文をもう一度読んで考えたりしながら考えました。グループでの話し合いでは、それぞれの考えを出し合い、まとめました。

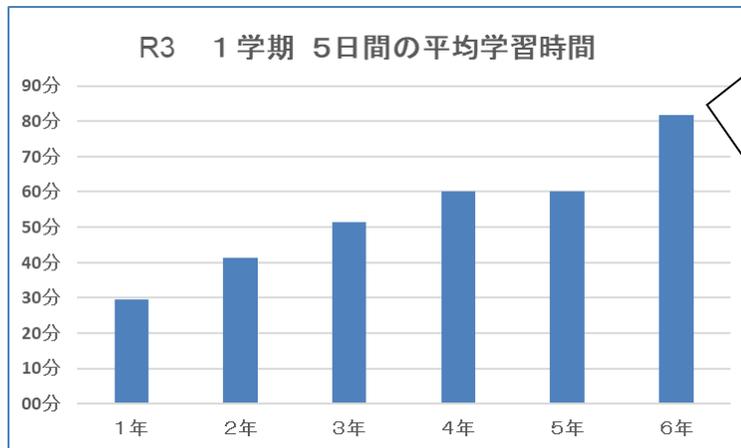


グループごとのまとめを発表し合い、全体で「例の挙げ方」についてまとめました。また一つ、筆者の書き方の工夫を見つけました。この学びを、次は「書く」につなげ、「すがたをかえる食品」について説明文を書きます。読み手に伝わる文章に仕上げていきます。



2学期「家庭学習がんばり週間」に向けて

2学期も、家庭学習を充実させるための期間を設けます(後日お知らせします)。家庭学習の習慣づくり、自分の課題に合わせた自主学習等、各学年の目標に合わせた学習時間や内容に取り組みます。各家庭でのご協力をお願いします。



1学期のがんばり週間での、学習時間の結果です。低学年は30分、3年は40分、4年は50分、5年は60分、6年は70分という目標時間を意識している様子でした。その後も続けて頑張っているのでしょうか?
2学期は、4～6年で宿題以外の学習も充実させたいです。

「言葉の森」

今年度も1階廊下に「言葉の森」を設置しました。様々な言葉に触れてほしいと、クイズとして問題を出しています。1週間後にはその答えが分かり、言葉の解説もあります。日常生活や学習の場で使えるようになるといいです。

いくつか紹介しますので、各家庭で答えを考えたり、その言葉を使った文を考えたりしてみてください。普段何気なく使っている日本語ですが、改めて考える機会にさせていただきたいと思います。



① 「わくわく」「ぞくぞく」どっちかな?

● 年玉を待つ。
● 大好きな有名人に会えて [] した。

● [] しながらお

週に1回、問題が変わります。他にも「しっかり・きっちり」「でれでれ・めろめろ」「しょんぼり・がっかり」「さくさく・ぼりぼり」が出題されました。「どういう意味?」と聞かれたら、どう答えますか?・・・案外、難しいですね。

① 「どきどき」「はらはら」どっちかな?

● よちよち歩く赤ちゃんを [] 見守る。
● [] 見つからないようにして待つ。

